

成果指標設定調書

【成果指標の設定】 成果指標設定年度 令和7 年度

市町村名	草加市			
提案事業名	顔の見える経済循環強化とにぎわいづくり			
事業期間	令和7 年度	～	令和7 年度	
事業の必要性、目的	マーケットの学校の参加者にまちとのゆるやかな関わり方を模索する手段として、マーケットを題材として、「自分達の暮らし」や「消費者としてのまちへの関わり方」等を考えてもらうことで、従来の受動的なまちへの関わり方から能動的な姿勢へと行動変容を促す。			
成 果 指 標	(成果を検証する指標) マーケットの学校参加者のうち、運営意欲を有する者の割合			
	(成果検証の具体的な方法) 参加者に対して、アンケート調査し、どの程度の参加者が、マーケットの学校参加後に「マーケットの運営についてポジティブになった。」かについて調査する。			
	(上記の指標を設定した理由) マーケットの運営を通して、コミュニティの形成など、まちに関わることで、従来の受動的なまちへの関わり方から能動的な姿勢へと行動変容を促す。			
	(成果の目標)			
	① 定量的指標の場合			
	現状値 (7年4月現在)	0	目標値 (年 月時点)	50%
	② 定性的指標の場合			
	現状 (年 月現在)			
	目標 (年 月現在)			
	(施設建設等の場合)			
年間利用者数 (目標) (人)		稼働率 (目標) (%)		
住民への公表方法 及び特記事項	本調書を市ホームページに掲載			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和7年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
①	マーケットの学校業務	マーケットを題材として、まちへの関わり方を模索するとともに、実際にマーケットを開催し、まちに関わることで、従来の受動的なまちへの関わり方から能動的な姿勢へと行動変容を促す。	2,341
②			
③			
④			
合計			2,341

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	ワークショップを通して、参加者自身がまちに主体的に関わる楽しみ方を模索するとともに、マーケットがもつコミュニティ機能等の可能性に気づいてもらう。
成果指標の達成見込み	ワークショップでマーケットの可能性に気づくことで、達成可能と考えています。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に（ ）書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。